

*各単元における「③態度」の評価については、章全体の評価規準を参考に、適宜設定されたい。

第1編 世界と日本の地域構成

★p.9~27

学習項目	学習のねらい	評価規準
世界と日本の地域構成 9	○緯度と経度により世界の主な国々の位置関係をとらえたり、日本周辺の海洋や構成する島々から領域の広がりをとらえたりすることなどに着目して、地域構成の特色を多面的・多角的に考察し、表現する力を育成する。 ○学習の全体を通して、世界と日本の地域構成を大観し理解できるようにする。	①知識・技能 ・緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解している。 ・日本の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解している。 ②社会的な思考・判断・表現 ・世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 ・日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 世界と日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

●第1章 世界の地域構成 (5時間)

『世界の国々について、その位置関係や広がりについてみていこう。』

章の学習のねらい	章の評価規準
○地球儀や地図帳を活用し、緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などをもとに、世界の地域構成を大観し、理解する。 ○大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して、世界の地域構成の特色を多面的・多角的に考察し、表現する。	①知識・技能 地球儀や地図帳の活用の仕方、世界の略地図の描き方などを身に付け、緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などをもとに、世界の地域構成を大観し、その特色を理解している。 ②社会的な思考・判断・表現 世界の地域構成の特色について、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 世界の地域構成について、地球儀や地図帳を活用して、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などの約束事やきまりなどを主体的に追究しようとしている。

〈各時間の評価規準〉

学習項目	学習のねらい	①知識・技能	②思考・判断・表現
①身近なものから見える世界 1	○世界の大陸と海洋の位置と名称を知り、地球を大観する。 ○地球儀などを使って、陸地と海洋の分布や面積比を確かめることができる。	地球儀などの活用の仕方を身に付け、世界の大陸と海洋の位置と名称を理解している。	地球儀を活用し、陸地と海洋の分布や面積比がどのようになっているかを考察し、その内容を表現している。
②地球を表す模型 1	○地球儀を使って、赤道や本初子午線、緯線や経線の意味を知り、地球上の位置を緯度と経度によって示すことができる。 ○地球儀を使って、地軸が傾いていることを知り、それによって日本のような中緯度地域では四季の区別があることをとらえることができる。	地球儀などの活用の仕方を身に付け、地球上の位置の表し方や地軸の傾きによる季節の変化について理解している。	地球儀を活用し、地軸の傾きとそれにもなう季節の変化がどのように関連しているかを考察し、その特色を表現している。

学習項目	学習のねらい	①知識・技能	②思考・判断・表現
③地球儀から世界地図へ 	○球体である地球を平面の世界地図に表す際に、面積・形・方位などのすべての要素を正しく描くことはできないことが理解できる。 ○地球儀や世界地図を活用しながら、さまざまな作業を通じて、投影法による世界地図の特徴の差異について関心を持ち、世界のおおまかな略地図を描くことができる。	地球儀と世界地図の違いについて理解し、世界の略地図を描く技能を身に付けている。	地球儀と世界地図の違いについての知識を生かし、どのような場面で地球儀やさまざまな図法で描かれた世界地図を活用することが適切なのかを考察し、その理由を説明している。
④200近くの国々からなる世界 	○世界の主な国のうち、60か国程度の位置と名称を身に付ける。 ○地図帳を使って、世界各国の面積の大きい・小さいや、人口の多い・少ないを調べ、比較できる。	世界の主な国の名称を理解し、地図帳などを活用してその位置を見つける技能や、面積の大きい国と人口の多い国について、数値をもとに調べる技能を身に付けている。	地図帳などを活用し、世界の主な国について調べることを通して、面積の大きい国・小さい国や人口の多い国・少ない国の分布の特色について考察し、その内容を表現している。
⑤「ユニオンジャック」はどこにある？ 	○世界の主な国々を国旗・国名の由来や国境線からとらえ、その国の歴史や文化などの特色について関心をもつ。 ○地図帳のさくいんを使って国の位置を調べたり、さまざまな資料から国旗・国名の成り立ちを調べることができる。	地図帳などを活用し、世界の主な国々の国旗の特色や国名の成り立ちについて理解している。	世界の主な国々の国旗や国境線に着目し、国名の成り立ちなどに関連付けて特色を考察し、その内容を表現している。

●第2章 日本の地域構成
(4時間)

『日本の位置について確かめ、都道府県の位置関係や広がりについてみていこう。』

章の学習のねらい	章の評価規準
<p>○地球儀や地図帳を活用し、日本の国土の位置、世界各地との時差、領域の広がりや特色、その変化などを大観し、日本の地域構成を理解する。</p> <p>○日本の周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して、日本の地域構成の特色を多面的・多角的に考察し、表現する。</p>	<p>①知識・技能 地球儀や地図帳を活用し、日本の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などをもとに、日本の地域構成を大観し、理解している。</p> <p>②社会的な思考・判断・表現 日本の地域構成の特色について、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 日本の地域構成について、地球儀や地図帳などを活用し、その特色や課題について主体的に追究しようとしている。</p>

〈各時間の評価規準〉

学習項目	学習のねらい	①知識・技能	②思考・判断・表現
①世界の中の日本の位置 	<p>○世界における日本の位置を理解し、絶対的位置や相対的位置の方法によって表現できる。</p> <p>○時差のしくみを理解し、世界各地との時差の計算によって、日本の位置について表現できる。</p>	<p>・地球儀や地図帳などを活用し、世界における日本の位置を理解し、適切に表す技能を身に付けている。</p> <p>・時差のしくみについて理解し、他の国の都市との時差を求める技能を身に付けている。</p>	<p>時差についての知識を活用し、一つの国の中で時差が生じる国の共通点を考察し、その内容を表現している。</p>
②日本の国土の広がり 	<p>○日本の領域は多くの島々(領土)と領海・領空からなり、海に囲まれた海洋国家であることを理解する。</p> <p>○領海の外側に排他的経済水域が設けられていること、日本の領域が時代とともに変化してきたことについて関心を持ち、調べようとする態度を養う。</p>	<p>日本の領域について、地図帳などを活用して位置や名称をとらえる技能を身に付け、日本の領域の特色を理解している。</p>	<p>日本の排他的経済水域と領域との特色の一つとして、沖ノ島島の護岸工事の意義について考察し、その内容を表現している。</p>
③日本の領土をめぐって 	<p>○北方領土、竹島と尖閣諸島について、日本と周辺国との間に領土をめぐる対立が生じていることを理解する。</p> <p>○北方領土、竹島と尖閣諸島について、具体的な位置関係を把握するとともに、歴史的背景について関心を持ち、調べようとする態度を養う。</p>	<p>北方領土、竹島と尖閣諸島について、地図帳などからその位置をとらえる技能を身に付け、日本と周辺国との間に領土をめぐる対立が生じていることを理解している。</p>	<p>北方領土、竹島と尖閣諸島について、位置関係や歴史的背景を調べ、解決に向けてどのようなことが必要かを考察し、その内容を表現している。</p>
④47の都道府県 	<p>○47都道府県と都道府県庁所在地名について確認し、その成り立ちを含めて理解し、自然的・社会的条件を設定して共通性を考えるなどして、表現できる。</p> <p>○日本のおおまかな略地図を描くことができる。</p>	<p>地図帳などを活用し、47都道府県と都道府県庁所在地の位置と名称をとらえる技能を身に付け、その成り立ちや境界、都道府県庁所在地の歴史的特色や共通性について理解している。</p>	<p>都道府県庁所在地の歴史的特色や共通性について考察し、その内容について略地図なども活用しながら表現している。</p>

第2編 世界のさまざまな地域

★p.28~128

●第1章 世界の人々の生活と環境(8時間)

『世界各地の人々の生活・文化と自然との関わりについてみていこう。』

章の学習のねらい	章の評価規準
<p>○人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解するとともに、世界各地における人々の生活やその変容をもとに、世界の人々の生活や環境の多様性及びそれらの関係性について理解する。</p> <p>○世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。</p>	<p>①知識・技能 ・人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。 ・世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解している。その際、世界の主な宗教の分布についても理解している。</p> <p>②社会的な思考・判断・表現 世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそぞで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

〈各時間の評価規準〉

学習項目	学習のねらい	①知識・技能	②思考・判断・表現
①地域によって気候が変わる I	<p>○30ページの「世界の気候帯の分布」と、気温と降水量のグラフを活用し、世界の気候帯の分布をとらえる。</p> <p>○大陸別の気候帯の分布について関心をもち、それぞれの気候帯の特徴を比較し、表現することができる。</p>	世界の気候帯について、その名称を理解し、分布の特色を地図帳などを活用して読み取る技能を身に付けている。	世界の気候帯の特色について、気温と降水量のグラフから読み取ったことをもとに考察し、その内容を表現している。
②赤道に沿った暑い地域の暮らし I	<p>○熱帯の地域の自然環境の特色と、そこに暮らす人々の生活とその変化を理解する。</p> <p>○熱帯の気候分布図からその広がりの特徴を読み取り、気温と降水量のグラフから熱帯気候の特色をとらえることができる。</p>	熱帯の地域の気温と降水量のグラフ、分布の特色を適切に読み取る技能を身に付け、熱帯の地域の特徴について、住居や衣服、暮らしの特色と関連付けて理解している。	熱帯の地域の特徴と生活の工夫について考察し、その内容を表現している。
③植物の少ない乾いた地域の暮らし I	<p>○乾燥帯の地域の自然環境の特色と、そこに暮らす人々の生活とその変化を理解する。</p> <p>○乾燥帯の気候分布図からその広がりの特徴を読み取り、気温と降水量のグラフから乾燥帯気候の特色をとらえることができる。</p>	乾燥帯の地域の気温と降水量のグラフ、分布の特色を適切に読み取る技能を身に付け、乾燥帯の地域の特徴について、住居や衣服、暮らしの特色と関連付けて理解している。	乾燥帯の地域の特徴と生活の工夫について考察し、その内容を表現している。
④温暖な地域の暮らし I	<p>○温帯の地域の自然環境の特色と、そこに暮らす人々の生活とその変化を理解する。</p> <p>○温帯の気候分布図からその広がりの特徴を読み取り、気温と降水量のグラフから温帯気候の特色をとらえることができる。</p>	温帯の地域の気温と降水量のグラフ、分布の特色を適切に読み取る技能を身に付け、温帯の地域の特徴について、住居や衣服、暮らしの特色と関連付けて理解している。	温帯の地域の特徴と生活の工夫について考察し、その内容を表現している。

学習項目	学習のねらい	①知識・技能	②思考・判断・表現
⑤雪と氷に囲まれた地域の暮らし I	○冷帯(亜寒帯)・寒帯の地域の自然環境の特色と、そこに暮らす人々の生活とその変化を理解する。 ○冷帯(亜寒帯)・寒帯の気候分布図からその広がりの特徴を読み取り、気温と降水量のグラフから冷帯(亜寒帯)・寒帯気候の特色をとらえることができる。	冷帯・寒帯の地域の気温と降水量のグラフ、分布の特色を適切に読み取る技能を身に付け、冷帯・寒帯の地域の特徴について、住居や衣服、暮らしの特色と関連付けて理解している。	冷帯・寒帯の地域の特徴と生活の工夫について考察し、その内容を表現している。
⑥標高が高い地域の暮らし I	○標高の高い地域の自然環境の特色と、そこに暮らす人々の生活とその変化を理解する。 ○高山気候の分布図からその広がりの特徴を読み取り、気温と降水量のグラフから高山気候の特色をとらえることができる。	高山気候の地域の気温と降水量のグラフ、分布の特色を適切に読み取る技能を身に付け、高山気候の地域の特徴について、住居や衣服、暮らしの特色と関連付けて理解している。	高山気候の地域の特徴と生活の工夫について考察し、その内容を表現している。
⑦さまざまな言語と人々の暮らし I	○世界にはさまざまな民族が暮らしており、それらをもとに多様な言語や文化が形成されていることを理解する。 ○多様な文化の存在を互いに認めて、共存していこうとする態度を養う。	世界で使われている言語の分布について、地図帳などを活用し、適切に読み取る技能を身に付け、世界にはさまざまな民族が生活し、多様な言語が使われていることを理解している。	複数の言語を公用語としている国について、多文化の尊重の視点から考察し、その内容を表現している。
⑧さまざまな宗教と人々の暮らし I	○世界の主な宗教の特色とその分布を理解する。 ○多様な宗教の存在を互いに認めて、共存していこうとする態度を養う。	世界の主な宗教の分布について、地図帳などを活用し、適切に読み取る技能を身に付け、世界の主な宗教の特色と人々の生活との関連を理解している。	宗教をめぐる対立や紛争について、異なる宗教をもつ人々の共存を視点に考察し、その内容を表現している。

●第2章 世界の諸地域(28時間)

『世界の諸地域について、他地域との結びつきや、州の特徴についてみていこう。』

学習項目	学習のねらい	評価規準
世界の諸地域 28	○州ごとにみられる地球的課題の要因や影響について、その広がりや地域内の結びつきからとらえたり、地球的課題についての州としての地域的特色や変容の過程からとらえたりするなどして、多面的・多角的に考察し、表現する力を育成する。 ○学習の全体を通して、世界の人々の生活や環境の多様性、それらの結びつきについて理解する。	①知識・技能 ・世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、あらわれ方が異なることを理解している。 ・世界の各州に暮らす人々の生活をもとに、各州の地域的特色を大観し理解している。 ②社会的な思考・判断・表現 世界の各州において、地域でみられる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結びつきなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

◇1 アジア州
7

『アジアでは、なぜ経済が発展したのだろうか。』

アジア州の学習のねらい	アジア州の評価規準
○アジア州を大観し、その上で「多様なアジアがなぜ経済発展を遂げたか」を主題として設定して、地域的特色を理解する。 ○アジア州の経済発展と人口問題を結び付けてとらえたとともに、人口問題における一般的課題と中国における地域特有の課題をとらえる。	①知識・技能 ・アジア州について、経済発展とその歴史的背景、各国の結びつき、州でみられる地球的課題(人口問題)などを通して、地域的特色を大観し、理解している。 ・アジア州について、地図帳や諸資料を活用して州の地域的特色を具体的にとらえ、習得した知識を整理して地図などを使ってまとめる技能を身に付けている。 ②社会的な思考・判断・表現 アジア州の地域的特色や地球的課題(人口問題)について、その要因や影響をアジア州の広がりや州内の各国の結びつきなどに着目して、諸資料から読み取れることと関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 アジア州について設定された主題「経済発展」を通して、そこでみられる人口増加などの地球的課題(人口問題)に着目して考え、主体的に追究しようとしている。

〈各時間の評価規準〉

学習項目	学習のねらい	①知識・技能	②思考・判断・表現
①アジアをながめて 1	○アジア州の歴史と自然環境を大観し、アジアを構成する主な国々の位置と名称を理解する。 ○アジア州の地勢図から、主な自然地名や国々の位置と名称を読み取り、地域区分をすることができる。	アジア州の位置・気候・歩みなどについて、地図帳などを活用して特色を読み取る技能を身に付け、アジア州の主な自然地名や国々の位置と名称、地域区分などを理解している。	アジア州の気候や宗教に着目して、どのような特色があるかを考察し、その内容を表現している。
②工業化と大都市の成長 1	○韓国を例に、工業化にともない、経済発展と都市化が進んでいることを理解する。 ○韓国を例に、大都市が成長することによって、どのような問題が引き起こされているのかを考え、表現できる。	韓国の工業化と輸出品の変化などについて、グラフや分布図から特色を適切に読み取る技能を身に付け、工業化と大都市の成長について理解している。	韓国の工業化と都市の成長による課題、日本や北朝鮮との課題について考察し、その内容を表現している。

学習項目	学習のねらい	①知識・技能	②思考・判断・表現
③巨大な人口を支える農業と多様な民族 	○中国を例に、多くの人口や多様な民族と、それらを支える農業生産の特色を理解する。 ○中国を例に、人口・民族分布と人口問題、自然環境と農業の関係について考察し、表現できる。	中国の人口分布と農業の特色について、グラフや分布図を適切に読み取る技能を身に付け、中国の人口問題や農業の現状などを理解している。	中国の人口問題についての取り組みや少数民族への政策、農業分布などについて考察し、その内容を表現している。
④「世界の工場」から「世界の市場」へ 	○中国を例に、工業化と経済発展が進み、それによって人々の生活が変化していることを理解する。 ○中国を例に、経済発展とその背景、経済発展と人々の生活の変化、環境問題の深刻化との関係について考え、表現できる。	中国の工業化の経緯と暮らしの変化、環境問題について、グラフや分布図から特色を適切に読み取る技能を身に付け、中国の経済発展と環境問題について理解している。	中国の経済発展の経緯と生活の変化、環境問題の現状について考察し、その内容を表現している。
⑤変わる産業と貿易 	○東南アジアを例に、多様な宗教や民族、産業の特徴とその変化を理解する。 ○東南アジアを例に、工業化が進んだ背景や貿易の進展、人々の生活の変化について考え、表現できる。	東南アジアの産業の特色や変化、地域的な結びつきについて、グラフや分布図から適切に読み取る技能を身に付け、東南アジアの経済発展について理解している。	東南アジアの経済発展の背景と今後の課題について考察し、その内容を表現している。
⑥発展する産業と社会 	○南アジアを例に、農業・工業の発展や、近年のインドの産業の特徴であるICT産業の進展について理解する。 ○南アジアを例に、農業・工業の発展した背景や、ICT産業が近年進展してきた地域特有の条件について考え、表現できる。	南アジアの産業の特色や変化、地域的な結びつきについて、グラフや分布図から適切に読み取る技能を身に付け、南アジアの産業の進展などについて理解している。	南アジアの経済発展の背景と今後の課題について考察し、その内容を表現している。
⑦豊かな天然資源に支えられて 	○西アジア・中央アジアを例に、自然環境と人々の暮らしや、石油など鉱産資源に依存した経済の特色を理解する。 ○西アジア・中央アジアを例に、石油やレアメタルなどの鉱産資源が世界に対して影響を及ぼし、人々の伝統的な暮らしが変化していることについて考え、表現できる。	西アジア・中央アジアの資源と産業の特色について、グラフや分布図から適切に読み取る技能を身に付け、西アジア・中央アジアの経済発展について理解している。	西アジア・中央アジアの経済発展の背景と今後の課題について考察し、その内容を表現している。
☐シンガポールはいま (1)	○シンガポールを例に、小国でありながら産業が発展してきた背景や、観光大国としての特色について理解する。 ○シンガポールを例に、世界都市として発展し、観光大国でもある地域特有の条件について考え、表現できる。	シンガポールの産業発展の特色について、グラフや分布図から適切に読み取る技能を身に付け、その要因を理解している。	シンガポールの経済発展の背景について考察し、その内容を表現している。

ヨーロッパ州の学習のねらい	ヨーロッパ州の評価規準
<p>○ヨーロッパ州を大観し、その上で「ヨーロッパでは、各国がそれぞれの歴史・文化をもちながらも、なぜ国々の結びつきが強まったのか」を主題として設定して、地域的特色を理解する。</p> <p>○ヨーロッパ州の各国の産業発展にもなって発生してきたさまざまな環境問題に対する対策をとらえるとともに、環境問題における一般的課題とヨーロッパ州の各国における地域特有の課題をとらえる。</p>	<p>①知識・技能</p> <p>・ヨーロッパ州について、各国の結びつきが強まった理由や歴史的背景、州やEUが抱える地球的課題(環境問題)などを通して、地域的特色を大観し、理解している。</p> <p>・ヨーロッパ州について、地図帳や諸資料を活用して州の地域的特色を具体的にとらえ、習得した知識を整理して地図などを使ってまとめる技能を身に付けている。</p> <p>②社会的な思考・判断・表現</p> <p>ヨーロッパ州の地域的特色や地球的課題(環境問題)について、その要因や影響をヨーロッパ州の広がりや州内の各国の結びつきなどに着目して、諸資料から読み取れることと関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <p>ヨーロッパ州について設定された主題「国家間の結びつき」を通して、そこで見られる酸性雨や地球温暖化などの地球的課題(環境問題)に着目して考え、主体的に追究しようとしている。</p>

〈各時間の評価規準〉

学習項目	学習のねらい	①知識・技能	②思考・判断・表現
①ヨーロッパをながめて 	○ヨーロッパ州の自然環境や文化を大観し、ヨーロッパ州を構成する主な国々の位置と名称を理解する。 ○ヨーロッパ州の地勢図から、主な自然地名や国々の位置と名称を読み取ることができる。	ヨーロッパ州の位置・気候・民族などについて、地図帳などを活用して特色を読み取る技能を身に付け、主な自然地名や国々の位置と名称、地域区分などを理解している。	ヨーロッパ州の気候や言語・宗教に着目して、どのような特色があるのかを考察し、その内容を表現している。
②ヨーロッパの統合とその課題 	○ヨーロッパ連合の成り立ちとその拡大について理解する。 ○ヨーロッパ連合加盟国における生活の変化と、地域格差の現状とその課題について考え、表現できる。	ヨーロッパ連合の設立の背景や特色について、グラフや分布図から適切に読み取る技能を身に付け、理解している。	EU加盟国間の国民総所得やイギリスのEU離脱などに着目して、EUの課題について考察し、その内容を表現している。
③ヨーロッパの農業のいま 	○ヨーロッパの農業について、自然環境との関係から地域的特色を理解する。 ○フランスを例に、農業生産の特色や食文化、ヨーロッパ連合との関わりについて考え、表現できる。	ヨーロッパの農業の特色について、グラフや分布図から適切に読み取る技能を身に付け、理解している。	ヨーロッパの農業について、気候と作物の関係に着目して特色を考察し、その内容を表現している。
④国境を越える工業生産 	○ヨーロッパ連合の工業について、資源分布との関係や工業地域の変化、地域格差について理解する。 ○ドイツを例に、工業の発展と外国人労働者の増加の関係について考え、表現できる。	ヨーロッパの工業発展の経緯や現状について、グラフや分布図から適切に読み取る技能を身に付け、その特色を理解している。	ヨーロッパの工業の課題について、労働者の移動と賃金に着目して考察し、その内容を表現している。
⑤持続可能な社会づくり 	○ヨーロッパの国境を越える環境問題と、それに対する人々の努力や関心の高まりについて理解する。 ○オランダ、デンマークなどを例に、環境問題と人々の環境に対する意識や行動、課題について考え、表現できる。	ヨーロッパの環境問題と解決への努力について、グラフや分布図から特色を適切に読み取る技能を身に付け、環境対策などを理解している。	ヨーロッパの環境問題への取り組みについて、再生可能エネルギーに着目して考察し、その内容を表現している。

学習項目	学習のねらい	①知識・技能	②思考・判断・表現
⑥広い国土をもつロシア連邦 I	○ロシア連邦の自然環境と人口分布の特色、歴史的な社会の変化について理解する。 ○ロシア連邦の鉱産資源を通じたヨーロッパ連合との関係や、経済格差の拡大、日本とのつながりについて考え、表現できる。	・ロシア連邦の国土・気候、EU諸国との結び付きについて、グラフや分布図から適切に読み取る技能を身に付け、ロシア連邦と他国との関係を理解している。	ロシアとEU諸国との結び付きについて考察し、その内容を表現している。
☐EU統合の課題 (1)	○国境を越えた「統合の流れ」が拡大している一方で、拡大から生じた課題、国内に生じた独立の動き、移民や難民の流入に関わる課題などについて理解する。 ○EU統合から生じている課題やその背景について考え、ヨーロッパの多様性について表現できる。	EU統合の長所と短所について、ここまでの学習を関連付けて理解している。	EU統合の課題について、スペインでの独立運動や他地域からの移民や難民に着目して考察し、その内容を表現している。

◇3 アフリカ州
3

『アフリカでは、なぜ他地域からの支援が必要とされるのだろうか』

アフリカ州の学習のねらい	アフリカ州の評価規準
○アフリカ州を大観し、その上で「アフリカでは、なぜ他地域からの支援が必要とされているのか」を主題として設定して、地域的特色を理解する。 ○アフリカ州の産業や経済の課題と人口・食料問題を結び付けてとらえるとともに、人口増加・食料不足といった問題における一般的課題とアフリカ州における地域特有の課題をとらえる。	①知識・技能 ・アフリカ州について、植民地化の歴史や現状、他地域からの支援活動、州でみられる地球的課題(人口・食料問題)などを通して、地域的特色を大観し、理解している。 ・アフリカ州について、地図帳や諸資料を活用して州の地域的特色を具体的にとらえ、習得した知識を整理して地図などを使ってまとめる技能を身に付けている。 ②社会的な思考・判断・表現 アフリカ州の植民地化の歴史や人口の急速な増加などの現状をもとに、人口・食料問題などの地球的課題について、地図を含めた諸資料から読み取れることを関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 アフリカ州について設定された主題「他地域からの支援の必要性」の視点を通して、そこで見られる人口・食料問題などの地球的課題に着目して考え、主体的に追究しようとしている。

〈各時間の評価規準〉

学習項目	学習のねらい	①知識・技能	②思考・判断・表現
①アフリカをながめて I	○アフリカ州の位置と自然環境を大観し、アフリカ州を構成する主な国々の位置と名称を理解する。 ○アフリカ州の地勢図から、主な自然地名や国々の位置と名称を読み取ることができる。	アフリカ州の位置・気候・環境問題などについて、地図帳などを活用して特色を読み取る技能を身に付け、その内容やアフリカ州の主な自然地名や国々の位置と名称、地域区分などを理解している。	アフリカ州の地形・気候や環境問題に着目して、どのような特色があるのかを考察し、その内容を表現している。
②アフリカの農業からみえる課題 I	○アフリカ州の農業について、自然環境との関係や、農業支援が必要な背景について理解する。 ○アフリカ州の農業からみえてくる人口・食料問題と、農業発展に必要な支援について考え、表現できる。	気候や植民地化の歴史と関連付けながらアフリカ州の農業や特色について、グラフや分布図から適切に読み取る技能を身に付け、理解している。	アフリカ州の農業についての課題を考察し、その内容を表現している。

学習項目	学習のねらい	①知識・技能	②思考・判断・表現
③アフリカの資源からみえる課題 I	○アフリカ州には豊富な鉱産資源が分布し、多くの国がそれらの輸出に頼るモノカルチャー経済から抜け出す努力を続けていることを理解する。 ○アフリカ州で豊富な鉱産資源を生かした産業の多様化が進まない状況について、自立へ向けてどのような支援・援助が求められているのか考え、表現できる。	アフリカ州の鉱産資源とモノカルチャー経済の特色について、グラフや分布図から適切に読み取る技能を身に付け、理解している。	アフリカ州の産業の多様化について、経済的な自立に着目して考察し、その内容を表現している。
㊦アフリカの歩みと課題 (1)	○アフリカ州の発展を阻害している、奴隷貿易や植民地分割などの歴史的な背景について理解する。 ○アフリカ州の各国の発展を阻害する歴史的な背景についてヨーロッパ各国による植民地支配と結び付けて考え、表現できる。	アフリカ州に共通する歴史的な背景について、分布図から特色を適切に読み取る技能を身に付け、理解している。	アフリカ州の歴史的な背景に着目し、発展に向けての課題と解決方法を考察し、その内容を表現している。

◇4 北アメリカ州
5

『北アメリカでは、なぜ先進的で多様な産業が発達したのだろうか』

北アメリカ州の学習のねらい	北アメリカ州の評価規準
○北アメリカ州を大観し、その上で「北アメリカでは、なぜ先進的で多様な産業が発達したのだろうか」を主題として設定して、地域的特色を理解する。 ○さまざまな面で現代の世界に大きな影響力をもつ北アメリカ州について、発展に至る経緯について多民族の共存という視点と結び付けてとらえらるとともに、多民族の共存がもたらす問題における一般的課題と北アメリカ州における地域特有の課題をとらえる。	①知識・技能 ・北アメリカ州について、産業や生活の特色、北アメリカ州や構成する各国が抱える地球的課題などを通して地域的特色を理解している。 ・北アメリカ州について、地図帳や諸資料を活用して特色を具体的にとらえ、習得した知識を整理して地図などを使ってまとめる技能を身に付けている。 ②社会的な思考・判断・表現 北アメリカ州の産業や経済などの先進性などを手がかりとして、多民族の共存の問題などの地球的課題について、地図を含めた諸資料から読み取れることを関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 北アメリカ州について設定された主題「先進的で多様な産業の発達」の視点を通して、そこから読み取れる多民族の共存の問題などの地球的課題に着目して考え、主体的に追究しようとしている。

〈各時間の評価規準〉

学習項目	学習のねらい	①知識・技能	②思考・判断・表現
①北アメリカをながめて I	○北アメリカ州の位置と自然環境を大観し、北アメリカ州を構成する主な国々の位置と名称を理解する。 ○北アメリカ州の地勢図から、主な自然地名や国々の位置と名称を読み取ることができる。	北アメリカ州の位置・気候、主な自然地名や国々の位置と名称などについて、地図帳などを活用して特色を読み取る技能を身に付け、その内容を理解している。	北アメリカ州の位置と気候に着目して、どのような特色があるのかを考察し、その内容を表現している。
②世界の食料庫 I	○アメリカ合衆国が世界有数の農産物輸出国であり、大規模な適地適作の農業経営など、さまざまな面で世界の食料庫として影響力が大きいことを理解する。 ○アメリカ合衆国の自然環境と農業地域の分布の関係について考え、表現できる。	アメリカ合衆国とカナダの農業の特色について、グラフや分布図から適切に読み取る技能を身に付け、理解している。	アメリカ合衆国の農業が世界各国に影響を与えるなど、世界が大きくアメリカ合衆国に依存していることに着目して考察し、その内容を表現している。

学習項目	学習のねらい	①知識・技能	②思考・判断・表現
③世界の最先端をゆく工業 I	○豊富な資源を背景としたアメリカ合衆国の工業生産と工業地域の特色を理解する。 ○重化学工業から、新しい工業分野の発展へと移り変わる中で、先端技術を生かした産業が発達した理由について考え、表現できる。	アメリカ合衆国・カナダの工業と資源の特色について、グラフや分布図から適切に読み取る技能を身に付け、理解している。	アメリカ合衆国の工業や多国籍企業について、世界的な役割・影響力に着目して考察し、その内容を表現している。
④世界に広がる生活様式 I	○アメリカ合衆国の歴史とそれを背景として形成されてきた都市生活や文化の特色を知り、世界中に影響を与えていることを理解する。 ○アメリカ合衆国の生活様式と比べて、身近な生活の中に、どのようなアメリカ文化の影響がみられるかを考え、表現できる。	アメリカ合衆国の都市生活や文化の特色について、グラフや分布図から適切に読み取る技能を身に付け、理解している。	アメリカ合衆国の都市生活や文化の特色について、日本の生活や文化との結び付きの視点から考察し、その内容を表現している。
⑤多民族の共存と課題 I	○アメリカ合衆国とカナダ、メキシコを例に、多民族・多文化からなる社会の特色について理解する。 ○アメリカ合衆国を例に、多民族の共存に関する問題や工夫について関心をもち、調べようとする態度を養う。	北アメリカ州の国々での多民族の共存の課題について、グラフや分布図から特色を適切に読み取る技能を身に付け、理解している。	北アメリカ州の国々での多民族の共存の課題について、歴史的な背景などに着目して考察し、その内容を表現している。
☐世界に展開する軍事力 (1)	○アメリカ合衆国のもつ強大な軍事力や、その世界各地への展開について理解する。 ○アメリカ軍基地の展開によって生じる、アメリカ軍が抱える課題、展開する地域に与える影響について関心をもち、調べようとする態度を養う。	アメリカ合衆国の軍事力の世界的な影響について、グラフや分布図から特色を適切に読み取る技能を身に付け、理解している。	アメリカ合衆国の軍事力の世界的な影響と課題について、歴史的な背景、軍事産業、米軍基地に関する問題などに着目して考察し、その内容を表現している。

◇5 南アメリカ州
4

『南アメリカでは、なぜ自然破壊や都市の人口増加が進んだのだろうか』

南アメリカ州の学習のねらい	南アメリカ州の評価規準
○南アメリカ州を大観し、その上で「南アメリカでは、なぜ自然破壊や都市の人口増加が進んだのだろうか」を主題として設定して、地域的特色を理解する。 ○南アメリカ州の各国の社会が形成されてきた歴史的背景が、開発による自然破壊や都市の人口増加とどのように結びつくのか、環境問題や都市問題における一般的課題と南アメリカ州における地域特有の課題をとらえる。	①知識・技能 ・南アメリカ州について、植民地としての歴史や多文化社会の形成、南アメリカ州や構成する各国が抱える地球的課題などを通して地域的特色を理解している。 ・南アメリカ州について、地図帳や諸資料を活用して特色を具体的にとらえ、習得した知識を整理して地図などを使ってまとめる技能を身に付けている。 ②社会的な思考・判断・表現 南アメリカ州の自然破壊や都市の人口増加などを通して、環境問題や都市問題などの地球的課題について、地図を含めた諸資料から読み取れることを関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 南アメリカ州について設定された「自然破壊や都市の人口増加」の視点を通して、そこでみられる環境問題・都市問題などの地球的課題に着目して考え、主体的に追究しようとしている。

〈各時間の評価規準〉

学習項目	学習のねらい	①知識・技能	②思考・判断・表現
①南アメリカをながめて I	○南アメリカ州の自然環境と歴史を大観し、南アメリカ州を構成する主な国々の位置と名称を理解する。 ○南アメリカ州の地勢図から、主な自然地名や国々の位置と名称を読み取ることができる。	南アメリカ州の自然環境と歴史の特色、南アメリカ州を構成する主な国々の位置と名称について、地図帳などを活用して読み取る技能を身に付け、その内容を理解している。	南アメリカ州の自然環境の特色について、地形・気候などに着目して多面的・多角的に考察し、その内容を表現している。
②多様な人々からなる社会 I	○南アメリカ州の国々が植民地としての歴史をもっていること、それが現在の人口構成や多文化社会の形成に影響を及ぼしていることを理解する。 ○南アメリカ州の多文化社会や農業などの経済状況について、その歴史的背景と結び付けて考え、表現できる。	南アメリカ州の社会について、主な使用言語や人口構成に関わる資料を読み取る技能を身に付け、植民地としての歴史が現代の社会に与える影響を理解している。	南アメリカが多文化社会となった歴史的背景、多文化社会とは何かについて考察し、その内容を表現している。
③アマゾン川流域の地域開発 I	○アマゾン川流域の開発とそこに住む人々の生活の課題、環境に配慮した開発について理解する。 ○アマゾン川流域の環境の変化に関心を持ち、そこで行われている農業や人々の暮らし、環境に配慮した農業のあり方について調べようとする態度を養う。	アマゾン川流域の開発について、そこに住む人々の生活や環境に与える影響を資料から読み取る技能を身に付け、持続可能な開発について理解している。	新旧の衛星写真や森林面積の変化などの資料などから、アマゾン川流域の環境の変化を多面的・多角的に考察し、地球環境への影響について調べた内容を表現している。
④南アメリカの経済成長と都市 I	○南アメリカ州の豊富な鉱産資源や農業の進展と結び付けて、ブラジルの経済成長と人口集中による都市問題について理解する。 ○南アメリカ州の資源開発や経済成長をふまえて、ブラジルを例に人口集中による都市問題について考え、表現できる。	南アメリカ州の資源開発や主な輸出品について、グラフや分布図などの資料から適切に読み取る技能を身に付け、ブラジルの経済成長の様子や都市への人口集中による問題を理解している。	ブラジルの経済成長に関わる課題や人口集中による都市問題について、地域開発や経済成長と都市問題とを結び付け、多面的・多角的に考察し、その内容を表現している。
Ⅱ国境を越えて移動する人々 (1)	○日本から南アメリカ州へ移動した、日系移民の人々の歴史について理解する。 ○日系移民の人々について関心を持ち、移住先での暮らしなどについて調べ、人々が国境を越えて移動する理由について考えようとする態度を養う。	地図帳や資料から「どこに多く日系人が暮らしているか」を読み取り、南アメリカ州の地域的特色と関連させ、南アメリカ州の日系移民の人々の暮らしについて理解している。	南アメリカ州に移住した日系移民の人々の暮らしについて、南アメリカ州の地域開発や経済成長などと関連させて多面的・多角的に考察し、人々が国境を越えて移動する理由を表現している。

◇6 オセアニア州

『オセアニアでは、なぜ他地域との関係が強まったのだろうか。』

3

オセアニア州の学習のねらい	オセアニア州の評価規準
<p>○オセアニア州を大観し、その上で「オセアニア州では、なぜ他地域との関係が強まったのだろうか」を主題として設定して、地域的特色を理解する。</p> <p>○オセアニア州が多様な地域からの移民によって形成されてきた歴史的背景をふまえ、多民族の共存の問題にどのように向き合ってきたか、多民族社会における一般的課題とオセアニア州における地域特有の課題をとらえる。</p>	<p>①知識・技能</p> <p>・オセアニア州について、移民による社会形成の歴史やそれにとまなう他地域との結びつき、オセアニア州の各国が抱える地球的課題などを通して地域的特色を理解している。</p> <p>・オセアニア州について、地図帳や諸資料を活用して特色を具体的にとらえ、習得した知識を整理して地図などを使ってまとめる技能を身に付けている。</p> <p>②社会的な思考・判断・表現</p> <p>オセアニア州への移民による社会形成の歴史などを手がかりとして、多民族の共存の問題などの地球的課題について、地図を含めた諸資料から読み取れることを関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <p>オセアニア州について設定された主題「他地域との結びつき」の視点を通して、そこでみられる多民族共存の問題などの地球的課題に着目して考え、主体的に追究しようとしている。</p>

〈各時間の評価規準〉

学習項目	学習のねらい	①知識・技能	②思考・判断・表現
<p>①オセアニアをながめて I</p>	<p>○オセアニア州の自然環境や歴史を大観し、オセアニア州を構成する主な国々の位置と名称を理解する。</p> <p>○オセアニア州の地勢図から、主な自然地名や国々の位置と名称を読み取ることができる。</p>	<p>オセアニア州の位置や自然環境、オセアニア州を構成する国々や特色ある歴史について、地図やグラフなどの資料を読み取る技能を身に付け、理解している。</p>	<p>オセアニア州の主な国や自然環境について、地図やグラフなどの資料を活用して多面的・多角的に考察し、その地域的特色を表現している。</p>
<p>②特色ある産業と国の成り立ち I</p>	<p>○オーストラリアやニュージーランドを例に、自然を生かした産業や歴史的背景と結び付けて、先住民と移民からなる現在の社会を理解する。</p> <p>○オーストラリアやニュージーランドの歴史的背景と結び付けて、特色ある産業や先住民と移民からなる社会の変化について考え、表現できる。</p>	<p>オーストラリアやニュージーランドについて、地図やグラフなどの資料から産業の特色や輸出品の変化を読み取る技能を身に付け、歴史的背景と結び付けて、現在の両国の社会の特色を理解している。</p>	<p>オーストラリアやニュージーランドの社会の変化を、歴史的背景と結び付けて考察し、先住民や移民からなる社会や産業の特色について表現している。</p>
<p>③他地域との関係を深める I</p>	<p>○オーストラリアを例に、移民政策の変化と、アジア諸国との結び付きを強めている背景について理解する。</p> <p>○オセアニア州の観光による他地域との結び付きとその課題について関心をもち、日本を含めたアジア諸国との結び付きについて調べようとする態度を養う。</p>	<p>オーストラリアへの移民の増加や、貿易相手先の変化などを地図やグラフなどの資料から読み取る技能を身に付け、オーストラリアがアジア諸国との結び付きを強めている背景を理解している。</p>	<p>オセアニア州が他地域との結び付きを強めている背景やそれにとまなう課題を、多面的・多角的に考察し、日本との関わりの変化について表現している。</p>
<p>㊦変わる太平洋の島々の暮らし (1)</p>	<p>○パラオやパプアニューギニアを例に、島々からなる国の暮らしと、他地域との結び付きについて理解する。</p> <p>○他地域との結び付きによって、伝統的な暮らしにどのような変化が生じてきたのか考え、表現できる。</p>	<p>パラオやパプアニューギニアを例に、島々からなる国の暮らしの特色や、他地域との結び付きにとまなう変化について理解している。</p>	<p>他地域との結び付きによって生じた伝統的な暮らしの変化について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>

第3編 日本のさまざまな地域

★p.133~281

●第1章 地域調査の方法を学ぼう(7時間)

『地域を調べることを通して、どのような特色をもつ地域なのか、明らかにしていこう。』

章の学習のねらい	章の評価規準
<p>○学校周辺などの生徒が生活舞台にしている地域に着目して、地域調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現する力を育成する。</p> <p>○学習の全体を通して、地域調査を行う際の視点や方法を理解し、そのために必要な地理的スキルが身に付くようにする。</p>	<p>①知識・技能 ・観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解している。 ・地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的スキルを身に付けている。</p> <p>②社会的な思考・判断・表現 地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめができるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 地域調査の手法について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

〈各時間の評価規準〉

学習項目	学習のねらい	①知識・技能	②思考・判断・表現
①地域をながめて 	<p>○身近な地域に対して関心を高め、地域を観察したり、諸資料などを集めて分析したりしながら、調査テーマを決める。</p> <p>○身近な地域に対して関心を高め、注意しながら観察し、視点をしばって調査テーマを決めようとする態度を養う。</p>	<p>身近な地域の調査を始めるにあたり、調査の見通しの立て方を理解し、調査テーマを決定する方法を身に付けている。</p>	<p>身近な地域の調査に向けて、地域の特色などに着目し、多面的・多角的に観察することを通して調査テーマを設定し、表現している。</p>
②調査の計画を立てる 	<p>○調査テーマごとに班をつくとともに、テーマを解決するための仮説を立て、さまざまな調査方法から適切なものを選択するなどして、調査の具体的なイメージを固める。</p> <p>○観察や諸資料によって得られた地域の情報や疑問などを分類・整理して共有し、取材先を選定するなど、具体的な調査計画書を作成する。</p>	<p>調査計画書の作成を通して、調査方法や資料収集の方法を理解し、調査の具体的なイメージを固めることができる。</p>	<p>調査テーマを解決する際に適切な調査方法は何かを考え、地域の情報や疑問などを多面的・多角的に分析し、調査計画書に表現している。</p>
③地形図を使って調べる(1) 	<p>○地形図の縮尺と、縮尺に応じた表現の違いについて理解し、地形図の基礎的な読み取り方を身に付ける。</p> <p>○調べる対象に応じて適切な縮尺の地形図を選択し、読み取ることができる。</p>	<p>主な地図記号や縮尺など、地形図の基礎的な読み取り方を身に付けている。</p>	<p>調べる対象に応じて、適切な縮尺の地形図を選択し、読み取ったことをもとに調査結果を表現している。</p>
④地形図を使って調べる(2) 	<p>○等高線を読み取るスキルを身に付け、新旧の地形図を比較して地域の移り変わりについて読み取る。</p> <p>○地形図上で読み取ることのできる地理的な情報を言語化し、文章に表現できる。</p>	<p>地形図上の等高線の読み取り方を理解し、新旧の地形図を比較するなど、読み取るスキルを身に付けている。</p>	<p>地形図上で読み取ることのできる地理的な情報を言語化し、適切に文章に表現している。</p>

学習項目	学習のねらい	①知識・技能	②思考・判断・表現
⑤地域の防災について調べる 	○現地調査(聞き取りや観察など)を実施し,得られた情報を整理し,現地調査の結果や収集した資料から,仮説を検証する。 ○仮説を検証する中で,地域の課題に気づき,解決に向けて何が必要か,話し合うなどしてまとめようとしている。	現地調査の方法を理解し,調査結果や収集した資料から仮説を検証する方法を身に付けている。	仮説を検証する中で,地域の課題を多面的・多角的に考察し,その解決策などを適切に表現している。
⑥調査の結果をまとめる 	○調査した結果を加工して,文章やグラフ,主題図などで表現し,分析する技能を身に付ける。 ○調査した結果をレポートやイラストマップ,新聞形式,パソコンを使って発表形式にまとめるなどの表現ができる。	調査結果をグラフや主題図に加工する技能を身に付け,それらをもとに調査結果を分析してまとめている。	調査した結果を多面的・多角的に考察し,レポートやイラストマップなどで適切に表現している。
⑦他の地域と比べる 	○地域の課題とその解決のための方策などについて,他の地域と比較することで,身近な地域の特色についてより深くとらえる。 ○例えば防災という共通の課題であっても,歴史的背景の違いなど,地域ごとの特色に応じた対策をとる必要があることに気づき,まとめようとしている。	地域の課題やその解決策などについて,他の地域と比較する方法を身に付け,身近な地域の特色について深く理解している。	他の地域と比較することで,身近な地域の特色を多面的・多角的に考察し,適切に表現している。

●第2章 日本の特色と地域区分(11時間)

『日本について,さまざまな視点から地域の特色を調べ,それらをもとに地域区分をしてみよう。』

章の学習のねらい	章の評価規準
○地域がもつ共通点や差異から傾向性を見だして地域区分してとらえたり,地域などについてその範囲がもつ特色や他の範囲との関係などをとらえたりして,日本の国土を地域区分し,その区分された地域の地域的特色を多面的・多角的に考察し,表現する力を育成する。 ○学習の全体を通して,日本の国土の地域的特色と地域区分の方法や意義を理解できる。	①知識・技能 ・日本の地形や気候の特色,海洋に囲まれた日本の国土の特色,自然災害と防災への取り組みなどをもとに,日本の自然環境に関する特色を理解している。 ・少子高齢化の課題,国内の人口分布や過疎・過密問題などをもとに,日本の人口に関する特色を理解している。 ・日本の資源・エネルギー利用の現状,国内の産業の動向,環境やエネルギーに関する課題などをもとに,日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解している。 ・国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況,これを活用した陸上,海上輸送などの物流や人の往来などをもとに,国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解している。 ・自然環境,人口,資源・エネルギーと産業,交通・通信の項目に基づく地域区分をふまえ,日本の国土の特色を大観し,理解している。 ・日本や国内地域に関する各種の主題図や資料をもとに,地域区分をする技能を身に付けている。 ②社会的な思考・判断・表現 ・自然環境,人口,資源・エネルギーと産業,交通・通信の項目について,それぞれの地域区分を,地域の共通点や差異,分布などに着目して,多面的・多角的に考察し,表現している。 ・日本の地域的特色を,自然環境,人口,資源・エネルギーと産業,交通・通信の項目に基づく地域区分などに着目して,それらを関連付けて多面的・多角的に考察し,表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 日本の地域的特色と地域区分について,よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

〈各時間の評価規準〉

学習項目	学習のねらい	①知識・技能	②思考・判断・表現
◆地域区分をし てみよう (1)	○日本を例として、共通点や関連性などに着目し、目的に応じてさまざまな地域区分ができることを理解する。 ○さまざまな地域区分図から、それぞれの地域の特色について読み取ることができる。	目的に応じてさまざまな地域区分ができることを理解し、それぞれの地域の特色について読み取る技能を身に付けている。	日本のさまざまな地域区分図を、共通点や関連性などに着目して多面的・多角的に考察し、それぞれの地域の特色を表現している。
①変動する大地、 安定した大地 I	○世界の中で日本が極めて不安定な地盤に位置することや、環太平洋造山帯に位置することを理解する。 ○世界の主な地震の震源と火山の分布図から、日本が火山・地震活動が活発な場所にあることや、その理由について考え、読み取ることができる。	地震や火山の分布図の読み取り方を身に付け、日本が極めて不安定な地盤に位置していることを理解している。	日本が地震や火山活動が活発な場所にあることや、その理由について、多面的・多角的に考察し、表現している。
②変化に富む日 本列島の地形 (1) I	○日本の山地・山脈や火山の分布、日本を取り巻く海洋、海岸線や海流などについて、それらの位置と名称を理解する。 ○日本の山地・山脈の特色や、海岸線・海流の特徴などについてまとめ、日本の略地図を描くなどして整理・表現することができる。	日本の山地や日本を取り巻く海洋など、日本列島の地形の特色を地図・写真などの資料から読み取り、理解している。	日本の山地・山脈や海岸線・海流など、主な地形の特色や分布について多面的・多角的に考察し、日本の略地図などに表現している。
③変化に富む日 本列島の地形 (2) I	○日本の河川・平野の分布とそれらの位置と名称を理解する。 ○日本の河川の特徴と、平野の成因や平野にみられる扇状地と三角州の違いなど、特色ある自然環境について、模式図や文章で表現することができる。	日本の主な平野や河川の分布を読み取る技能を身に付け、扇状地・三角州の成因など、地形からみた日本の地域的特色について理解している。	日本の平野でみられる主な地形の分布や形成のしくみ、人々の暮らしとの関わりについて多面的・多角的に考察し、適切に表現している。
④四季のある気 候 I	○日本は冷帯(亜寒帯)・温帯に属し、季節風の影響下にあること、日本は六つの気候に区分できることについて理解する。 ○日本の気候区分図から、各地域の気候の特色についてまとめ、表現できる。	日本の気候が、各地域の気候の特色をもとに地域区分されることや、各地の気候の成因について理解している。	気候は緯度や海流などが影響を与え、植生・景観に違いが生じることや、日本の気候は季節風によって変化が生じること、梅雨や台風などが発生することを適切に表現している。
⑤自然災害に向 き合う I	○日本で発生するさまざまな自然災害と、そのしくみなどの特徴を理解する。 ○さまざまな自然災害に対して、対策が行われていることについて考え、文章に表現できる。	地震や津波、火砕流や土石流などのさまざまな自然災害の種類や発生のしくみについて、地図・写真などの資料から理解している。	東日本大震災や阪神・淡路大震災などを事例に、さまざまな自然災害に対して行われている対策について多面的・多角的に考察し、身近な災害対策について文章に表現している。
⑥災害から身 を守るために I	○災害予測の重要性について認識し、さまざまな災害への支援・復興のための、国や各地方公共団体、地域社会のしくみを理解する。 ○ハザードマップを例として、さまざまな災害への予測、支援、復興への対策について考え、表現できる。	東日本大震災などの事例をもとに、災害時の対応や支援、復興や予測の重要性について理解している。	自然災害から身を守るための対策や、災害後の支援、復興へ向けた対策について、ハザードマップなどをもとに多面的・多角的に考察し、表現している。

学習項目	学習のねらい	①知識・技能	②思考・判断・表現
⑦変化する人口 I	○世界人口の分布や世界人口の現状をふまえて、日本では少子高齢化が進んでいることなどについて理解する。 ○人口ピラミッドから、世界各国や地域の人口構成の特色を読み取ったり、説明したりすることや、日本の人口対策や課題についてまとめることができる。	世界の人口分布図や、人口ピラミッドについて読み取る技能を身に付け、世界の人口分布のかたよりや日本の人口構成の特色を理解している。	世界人口の分布図や人口ピラミッドなどから、人口分布や人口構成の特色を多面的・多角的に考察し、説明している。
⑧人口分布のかたよりがもたらす問題 I	○日本の人口分布の特徴として、三大都市圏などの過疎地域と、それ以外の過疎地域がみられ、過密・過疎によって特有の課題が生じていることを理解する。 ○日本の少子高齢化によって、今後予想される課題や対策について考え、表現できる。	日本の人口分布や人口構成の特色を読み取る技能を身に付け、過疎や過密、人口構成にかかわる課題を理解している。	日本の過密・過疎の問題と人口減少社会の到来について、なぜそうした傾向が生じるのか、今後どのような課題が予想されるのか、多面的・多角的に考察し、適切に表現している。
⑨輸入に頼る資源・エネルギー I	○利用できる鉱産資源には限りがあること、日本は外国からの資源輸入に依存していること、電力利用についてもさまざまな課題があることを理解する。 ○鉱産資源の利用によって生じる課題、発電方法の種類と課題、再生可能なエネルギーについて考え、表現できる。	世界の資源の分布にはかたよりがあり、日本の資源の輸入や電力利用には課題があることを理解している。	世界全体の資源・エネルギーの消費量が増え続けている中で、環境保全と経済発展をどのように両立させていくのかなど、持続可能な視点に立った利用の仕方について多面的・多角的に考察し、表現している。
⑩日本の産業活動と立地 I	○日本における産業ごとの立地や、特色と課題について理解する。 ○日本における産業ごとの特色について、その課題などとともに考え、表現できる。	日本の産業活動について、その立地や特色について読み取る技能を身に付け、その課題について理解している。	「日本の産業別人口構成の移り変わり」から、日本の産業構造の変化や各産業の現状を多面的・多角的に考察し、抱える課題について適切に表現している。
⑪交通・通信による結びつき I	○世界と日本は交通や通信、貿易によって強く結び付いており、人の移動も増えてきたことを理解する。 ○国内の高速交通網の発達による、移動にかかる時間の短縮について、産業の発展などと結び付けて考え、表現できる。	交通・通信の技術の発達や貿易によって、世界各地と日本が結びつきを強めてきていることや、その結びつきにはかたよりがみられることを理解している。	国内の高速交通網の発達による、移動時間の短縮の影響やそれにもなう課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。

第3章 日本の諸地域(35時間)

『日本の諸地域について、考察の視点を通して、各地方の特色についてみていこう。』

学習項目	学習のねらい	評価規準
日本の諸地域 35	○各地域に充てた学習の視点とそれを取り巻く他の諸事象との多様な関係性をとらえたり、学習の視点の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などによってとらえたりして、地域の特色ある地理的な事象を他の事象と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成する。 ○学習の全体を通して、日本の諸地域の地域的特色や地域の課題とともに事象間の関係性を理解できるようにする。	①知識・技能 ・いくつかに分けた日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ・定められた考察の仕方では取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 ②社会的な思考・判断・表現 日本の諸地域において、それぞれの考察の仕方では扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

◇1 九州地方 5

『自然環境とその保全の視点から、九州地方の特色を考えていこう。』

九州地方の学習のねらい	九州地方の評価規準
○九州地方を大観し、「自然環境とその保全の視点」を中核として、それを産業や地域開発の動向、人々の生活などと関連付け、九州地方の地域的特色や地域の課題を理解する。 ○「自然環境とその保全の視点」を通して、九州地方では、人々の生活や経済活動が自然環境にどのような影響を及ぼしているのかについて、そこで生じている課題と結び付けて考察し、表現できる。	①知識・技能 ・九州地方を「自然環境とその保全の視点」から大観し、地域的特色や地域の課題を理解している。 ・九州地方の地域的特色に関するさまざまな資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりする技能を身に付けている。 ②社会的な思考・判断・表現 九州地方について、人々の生活や経済活動が自然環境に与える影響や、生じている課題を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 九州地方について「自然環境とその保全」の視点を通して、そこでみられる地域的特色や地域の課題に着目し、主体的に追究しようとしている。

〈各時間の評価規準〉

学習項目	学習のねらい	①知識・技能	②思考・判断・表現
①多様な自然がみられる地域 1	○九州地方の位置と自然環境を大観し、構成する県の位置と名称を理解する。 ○九州地方の地勢図から、主な自然地名や各県、主な都市の位置と名称を読み取ることができる。	九州地方の位置と自然環境の特色について、地図・グラフなどから読み取る技能を身に付け、構成する県の位置や名称を理解している。	九州地方は、中国や韓国と近いために歴史的な結び付きが深いことなどについて、多面的・多角的に考察し、歴史的な影響などを適切に表現している。
②火山とともに暮らす 1	○九州地方に火山が集中していることや、火山が人々の暮らしに及ぼす影響について理解する。 ○桜島の火山活動を例に、地域の人々の対応や火山の利用について考え、表現できる。	九州地方の火山の分布や桜島の火山活動を例に、火山が人々の暮らしに及ぼす影響や対応・工夫について理解している。	桜島の火山活動がもたらす影響について、産業や防災に関わる資料をもとに多面的・多角的に考察し、人々の生活と火山活動の関わりについて表現している。
③特色ある自然と多様な農業 1	○九州地方では自然環境を生かした農業・畜産が盛んであり、二毛作・二期作や循環型農業などの工夫が行われていることを理解する。 ○温暖な気候を生かした農業や九州南部の畜産を例に、自然環境を生かした農業の特色について考え、表現できる。	九州地方では自然環境を生かした農業が盛んであることを生産割合を示したグラフや写真などの資料から読み取り、特に畜産について先進的な取り組みが行われていることを理解している。	九州地方が全国有数の畜産地域であることを多面的・多角的に考察し、地域ブランドの魅力について適切に表現している。

学習項目	学習のねらい	①知識・技能	②思考・判断・表現
④工業の移り変わり と環境保全 I	○九州地方の工業発展の歴史と公害の発生,その克服と変わる九州地方の工業都市について理解する。 ○北九州市を例に,公害とその克服の取り組みに着目して考え,変わる九州地方の工業の特色について表現できる。	北九州市を例として,九州地方の工業発展の歴史と現在の主な工業都市にかかわる資料を読み取り,その特色を理解している。	九州地方の工業発展の歴史について,公害の克服などと共に多角的・多面的に考察し,表現している。
⑤さんご礁の海を 守る I	○南西諸島の自然環境と歴史の特色,観光開発による環境への影響について理解する。 ○沖縄県の歴史や文化と自然環境の特色から,観光開発と環境保全の関係について考え,表現できる。	沖縄の自然環境と歴史の特色について,南西諸島のさんご礁などにも着目して,観光開発による環境への影響について理解している。	沖縄県を例に,観光開発と環境保全の関係について,多面的・多角的に考察し,表現している。
☐☐公害を乗り越えて (1)	○水俣市で発生した公害病と,その教訓を生かした環境モデル都市としての活動について理解する。 ○四大公害について関心を持ち,その後の対策や状況などについて調べる態度を養う。	水俣市で発生した公害病と,その教訓を生かした環境モデル都市としての活動を事例とし,日本各地の公害について関心を持ち,各都市の現状やその取り組みなどについて理解している。	水俣病の原因やその経過,被害の実態を調べながら,水俣市がその後どのように公害防止に取り組み,具体的な政策を行ったかを多面的・多角的に考察し,説明している。

◇2 中国・四国地方
5

『人口集中や人口減少の視点から,中国・四国地方の特色を考えていこう。』

中国・四国地方の学習のねらい	中国・四国地方の評価規準
○中国・四国地方を大観し,「人口集中や人口減少の視点」を中核として,人口集中については都市問題などと,人口減少については著しく地域の人口が減少する過疎化や地域おこし,交通網の整備と人口の移動などをそれぞれ関連づけ,中国・四国地方の地域的特色や地域の課題を理解する。 ○「人口集中や人口減少の視点」を通して,中国・四国地方では,人口の変化が人々の生活や地域の経済活動などにどのような影響を及ぼしているのかについて,そこで生じている課題と結び付けて考察し,表現できる。	①知識・技能 ・中国・四国地方を大観し,「人口集中や人口減少の視点」を中核として,人口集中については都市問題などと,人口減少については著しく地域の人口が減少する過疎化や地域おこし,交通網の整備と人口の移動などをそれぞれ関連づけ,中国・四国地方の地域的特色や地域の課題を理解している。 ・中国・四国地方の地域的特色に関するさまざまな資料から,有用な情報を適切に選択して,読み取ったり図表などにまとめたりする技能を身に付けている。 ②社会的な思考・判断・表現 「人口集中や人口減少の視点」を通して,中国・四国地方では,人口の変化が人々の生活や地域の経済活動などにどのような影響を及ぼしているのかについて,そこで生じている課題と結び付けて多面的・多角的に考察し,表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 中国・四国地方の地域的特色について,よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

〈各時間の評価規準〉

学習項目	学習のねらい	①知識・技能	②思考・判断・表現
①人口分布のかたよる地域 I	○中国・四国地方の位置と自然環境を大観し、構成する県の位置と名称を理解する。 ○中国・四国地方の地勢図から、主な自然地名や各県、主な都市の位置と名称を読み取ることができる。	中国・四国地方の位置と自然環境を大観し、地図・グラフなどの資料から中国・四国地方の位置や構成する県、主な自然地名、主な都市の位置と名称、人口分布の特色を読み取り、三つの地域に区分できることを理解している。	中国・四国地方の人口分布の特色を考察し、その特色が歴史的な要因と密接に関連していることを説明している。
②中国・四国地方の中心 広島市 I	○中国・四国地方の地方中枢都市・政令指定都市である、広島市の都市化によって生じている課題について理解する。 ○地形図の新旧比較やグラフから、広島市の都市の発達について歴史的な変化を読み取ることができる。	中国・四国地方では広島市が地方中枢都市となっており、新旧地形図の比較を通して広島市の都市の発達について歴史的な変化を読み取る技能を身に付け、広島市の都市化によって起こる課題について理解している。	広島市の都市の性格が変化してきた理由を、歴史的背景や地形的条件、交通の発達と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。
③人口減少と地域の悩み I	○中国山地の農村などでは人口減少が続いており、過疎化にともなう課題がみられることを理解する。 ○JR三江線の廃止や移動スーパーなどを例に、過疎化の進む地域の人口構成の特色と課題、その対策としての市町村合併について考え、表現できる。	主題図や写真などの資料から、中国・四国地方の人口増減の地域的特色について、地形と関わらせて読み取る技能を身に付け、中国山地の農村などで人口減少が続いており、耕作放棄地の拡大など過疎化にともなう課題がみられることを理解している。	中国・四国地方の山間部を例に、過疎化・高齢化の原因や課題、市町村合併の目的や問題点について多面的・多角的に考察し、表現している。
④地域おこしの知恵 I	○過疎地域における、地域おこしや人々の努力・工夫の事例について理解する。 ○高知県馬路村や徳島県上勝町を例に、地域おこし、地域の活性化について関心をもち、各地の人々の努力・工夫について調べようとする態度を養う。	馬路村や上勝町を例に、人口構成を表すグラフを通して過疎地域に共通する特色を読み取る技能を身に付け、過疎地域における地域おこしや人々の努力・工夫、地域特有の課題について理解している。	「地域の活性化にどのように取り組むか」という課題について、地産地消や六次産業化という考え方をもとに、馬路村や上勝町の例を通して多面的・多角的に考察し、表現している。
⑤人口の変化と交通網の発達 I	○中国・四国地方の交通網の整備が、地域の人々の生活に与えた影響について理解する。 ○中国・四国地方の交通網の変化を示した主題図から、人々の行動圏が拡大したことや航路の廃止、移動手段の多様化などを読み取り、表現できる。	主題図などの資料から、人々の行動圏が拡大したことや航路の廃止、地方空港の新設などの変化を読み取る技能を身に付け、中国・四国地方の交通網の発達が人々の生活に与えた影響を多面的に理解している。	本州四国連絡橋の完成を例に、交通網の発達と人口の変化の関係について考察し、表現している。
☐持続可能な地域づくりを考える (1)	○高知県四万十町を例に、地元の生産品で「六次産業化」を進める取り組みを通して、地域資源を発掘し、それを地域づくりに生かす活動について理解する。 ○過疎地域では地域資源を活用した地域づくりのほかに、さまざまな観光開発や移住の促進などが進んでいることに関心をもち、人々と地域との関わり方について調べる態度を養う。	高知県四万十町を例に、地元の生産品で「六次産業化」を進める取り組みを通して、地域資源を発掘し、それを地域づくりに生かす活動について理解している。	高知県四万十町を例に、地元の生産品で「六次産業化」を進める取り組みについて、その背景や活動内容、その目的を表などにまとめ、持続可能な地域づくりについて多面的・多角的に考察し、表現している。

近畿地方の学習のねらい	近畿地方の評価規準
<p>○近畿地方を大観し、「歴史的な視点」を中核として、日本の政治・経済・文化の中心地であったことが地域に及ぼした影響などに関連づけ、近畿地方の地域的特色や地域の課題を理解する。</p> <p>○「歴史的な視点」を通して、近畿地方では、人々の生活や地域の特徴が時代とともにどのように移り変わってきたかについて、そこで生じている課題と結び付けて考察し、表現できる。</p>	<p>①知識・技能</p> <p>・近畿地方を大観し、「歴史的な視点」を中核として、日本の政治・経済・文化の中心地であったことが地域に及ぼした影響などに関連づけ、近畿地方の地域的特色や地域の課題を理解している。</p> <p>・近畿地方の地域的特色に関するさまざまな資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりする技能を身に付けている。</p> <p>②社会的な思考・判断・表現</p> <p>「歴史的な視点」を通して、近畿地方では、人々の生活や地域の特徴が時代とともにどのように移り変わってきたかについて、そこで生じている課題と結び付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <p>近畿地方の地域的特色について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

〈各時間の評価規準〉

学習項目	学習のねらい	①知識・技能	②思考・判断・表現
<p>①歴史に育まれた地域 I</p>	<p>○近畿地方の位置・歴史と自然環境を大観し、構成する府県の位置と名称を理解する。</p> <p>○近畿地方の地勢図から、主な自然地名や各府県、主な都市の位置と名称を読み取ることができる。</p>	<p>近畿地方の位置と自然環境を大観し、地図・グラフなどの資料から近畿地方の位置や構成する府県、主な自然地名、主な都市の位置と名称、人口分布の特色を読み取り、構成する府県の位置と名称を理解するとともに、大まかな歴史的背景を理解している。</p>	<p>近畿地方が古代から中世にかけて日本の中心として発展してきた理由や、近世には経済の中心であったことなど、歴史的な事象を背景として考察し、表現している。</p>
<p>②京都の街並みと伝統文化 I</p>	<p>○伝統的な街並みの保存と都市の開発という二つの問題における対立と調和について理解する。</p> <p>○景観の保全と開発において、さまざまな立場の意見や課題について考え、表現できる。</p>	<p>京都市を例として、地図・写真などの資料から京都の街割りの特色を読み取るなどの技能を身に付け、開発や都市化、伝統的な街並みと景観保全などにおける対立と調和について理解している。</p>	<p>景観保全と地域開発において、さまざまな立場や意見があることについて考察し、説明している。</p>
<p>③阪神工業地帯の発展と今後 I</p>	<p>○阪神工業地帯における工業の特色や臨海部の開発などについて、その歴史的な移り変わりを理解する。</p> <p>○東大阪市を例に、地域のものづくりの特色や課題について考え、表現できる。</p>	<p>地図・グラフなどの資料から、阪神工業地帯についての地域的特色や全国に占める割合の変化を読み取る技能を身に付け、阪神工業地帯における工業の特色や課題、その歴史的な変化を理解している。</p>	<p>東大阪市を例に、地域のものづくりの特色や、過去から現在に至る阪神工業地帯の変遷について、歴史的な事象を背景に考察し、表現している。</p>
<p>④都市の成り立ちと広がり I</p>	<p>○近畿地方の三つの中心都市について、その歴史的な成り立ちの違いと現代における課題を理解する。</p> <p>○京阪神大都市圏の日本の経済における位置づけと、交通網の整備や外国とのつながりの進展について考え、表現できる。</p>	<p>地図・グラフなどの資料から、都市分布と交通網の関係や東京都と大阪府の地位の差異について読み取る技能を身に付け、近畿地方の三つの中心都市について、その歴史的な変化と交通網の整備による影響について理解している。</p>	<p>京阪神大都市圏の交通網の整備と、日本の経済における大阪の位置づけや、関西国際空港の特色について考察し、表現している。</p>

学習項目	学習のねらい	①知識・技能	②思考・判断・表現
⑤琵琶湖の水の利用と環境 I	○琵琶湖を取り巻く自然環境, 琵琶湖の水の利用, 環境保全について, その移り変わりを理解する。 ○琵琶湖の環境保全と周辺地域の開発の課題について考え, 表現できる。	主題図などの資料から, 琵琶湖の水源としての重要性や琵琶湖の環境の変遷について読み取る技能を身に付け, 琵琶湖の水利用の歴史や, 琵琶湖の自然環境や水源としての特徴, 環境保全の歴史, 周辺地域の開発に関わる課題について理解している。	琵琶湖の水利用の歴史について理解し, 琵琶湖の環境保全と周辺地域の開発をめぐる課題について考察し, 環境保全にはさまざまな立場や意見があること, そうした必要な知識を得ることの重要性を説明している。
□林業と持続可能な未来 (1)	○紀伊山地の産業を例として, 歴史的な移り変わりを背景に, 新たな森林づくりや伝統のいかに流しを観光資源として生かそうとする活動について理解する。 ○歴史的な背景に着目しながら, 過疎化と高齢化が進む地域で行われている地域づくりのためのさまざまな努力・工夫について関心をもち, 人々と地域との関わり方について調べる態度を養う。	紀伊山地の産業を例として, 産業を活性化させるための工夫などについて表などにまとめる技能を身に付け, 歴史的な移り変わりを背景に, 新たな森林づくりや伝統のいかに流しを観光資源として生かそうとする活動について理解している。	紀伊山地の産業を例として, 歴史的な背景に着目しながら, 過疎化と高齢化が進む地域で行われている地域づくりのためのさまざまな努力・工夫について多面的・多角的に考察し, 表現している。

◇4 中部地方
5

『産業の視点から, 中部地方の特色を考えていこう。』

中部地方の学習のねらい	中部地方の評価規準
○中部地方を大観し, 「産業の視点」を中核として, さまざまな産業が各地域で独自の発展を遂げ, 地域に及ぼした影響などと関連づけ, 中部地方の地域的特色や地域の課題を理解する。 ○「産業の視点」を通して, 中部地方では, 人々の生活や地域の特徴が各地域で盛んな産業とどのように結び付いて形成されてきたかについて, そこで生じている課題と結び付けて考察し, 表現できる。	①知識・技能 ・中部地方を大観し, 「産業の視点」を中核として, さまざまな産業が各地域で独自の発展を遂げ, 地域に及ぼした影響などと関連づけ, 中部地方の地域的特色や地域の課題を理解している。 ・中部地方の地域的特色に関するさまざまな資料から, 有用な情報を適切に選択して, 読み取ったり図表などにまとめたりする技能を身に付けている。 ②社会的な思考・判断・表現 「産業の視点」を通して, 中部地方では, 人々の生活や地域の特徴が各地域で盛んな産業とどのように結び付いて形成されてきたかについて, そこで生じている課題と結び付けて多面的・多角的に考察し, 表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 中部地方の地域的特色について, よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

〈各時間の評価規準〉

学習項目	学習のねらい	①知識・技能	②思考・判断・表現
①多様な産業がみられる地域 I	○中部地方の位置と自然環境を大観し, 構成する県の位置と名称を理解する。 ○中部地方の地勢図から, 主な自然地名や各県, 主な都市の位置と名称を読み取ることができる。	中部地方の位置と自然環境を大観するとともに, 主題図やグラフなどの資料から中部地方を構成する県の位置と名称, 東海地方・中央高地・北陸地方の地域名と範囲を読み取る技能を身に付け, 理解している。	中部地方を地形・気候の面から三つの地域に区分して, 各地域における産業との関わりについて考察し, 表現している。

学習項目	学習のねらい	①知識・技能	②思考・判断・表現
②日本経済をリードする工業地域 	○中京工業地帯と東海工業地域には、自動車などをはじめとした機械工業が発達しており、地域経済を支えていることを理解する。 ○豊田市・浜松市の自動車・オートバイなど輸送用機械産業を例に、その成り立ちや合理化された生産体制などについて考え、表現できる。	主題図やグラフなどの資料から主な都市とその規模を読み取ったり、関連させて中京工業地帯・東海工業地域の特色を読み取ったりする技能を身に付け、中京工業地帯と東海工業地域には自動車などを中心とした機械工業が発達していることや、それがこの地域の経済を支えていることを理解している。	中京工業地帯や東海工業地域の工業の特色について、各都市で盛んな工業を例にあげながら説明している。
③先進的な第一次産業 	○東海地方を例として、付加価値を高めた先進的な第一次産業の現状について理解する。 ○静岡県の茶の生産などを例に、温暖な気候や地域の特性などを生かした農業生産の工夫などについて考え、表現できる。	東海地方における第一次産業を例として、農業における付加価値を高めるための工夫を取り上げ、主題図やグラフを読み取る技能を通じて、漁業における他地域との競争や現状、後継者不足といった課題について理解している。	静岡県の茶の生産などを事例に、その発展の経過や集約化された生産の工夫などについて考察し、表現している。
④自然環境を生かした産業 	○中央高地では、自然的条件を生かした農業や観光業が盛んであることを理解する。 ○長野県の高冷地野菜の生産を例に、他地域との時期をずらした出荷などについてその利点を考え、表現できる。	生産時期を気候との関係で他県とずらして出荷する工夫について主題図やグラフから読み取る技能を身に付け、中央高地では、自然的条件や交通網の整備による首都圏との結びつきを生かした農業や観光業が盛んであることを理解している。	中央高地の農業や工業、観光業の特色を自然的条件や歴史的背景と関連付けて考察し、表現している。
⑤多く降る雪を生かした産業 	○北陸地方における多雪という自然条件がもたらした、伝統的な産業や稲作を中心とした農業の発達について理解する。 ○北陸地方の伝統的工芸品や、日本各地の地場産業に関心をもち、調べようとする態度を養う。	主題図やグラフなどの資料から、北陸地方が日本でも有数の多雪地帯であること、北陸地方が中央高地・東海地方と比べて稲作中心であることを読み取る技能を身に付け、北陸地方が多雪地帯であることをふまえて伝統産業が発達した理由や農業が稲作中心であることについて理解している。	北陸地方の多雪という環境が、伝統産業や稲作中心の農業など、北陸の産業の発達に関係していることを考察し、表現している。
☐多文化共生について考える (1)	○浜松市などの工業地域で働く日系ブラジル人を例に、多文化共生社会の重要性を理解する。 ○国内で暮らす外国人(ニューカマー)に関心をもち、労働や生活の課題について調べようとする態度を養う。	静岡県浜松市の工業地域で働く日系ブラジル人を例に、グラフなどの資料から日本全体と浜松市を比較し、特徴の違いについて読み取る技能を身に付け、多文化共生の取り組みとその重要性を理解している。	静岡県浜松市を例に、外国人との共生の取り組みについて調べ、説明している。

関東地方の学習のねらい	関東地方の評価規準
<p>○関東地方を大観し、「交通・通信の視点」を中核として、東京に人・もの・情報などが日本や世界から集まることで、政治・経済・文化などさまざまな面で日本の中心的役割を担っていることについて、関東地方の地域的特色や地域の課題を理解する。</p> <p>○「交通・通信の視点」を通して、関東地方がどのように日本・世界の各地と結び付いているかについて、そこで生じている課題と結び付けて考察し、表現できる。</p>	<p>①知識・技能</p> <p>・関東地方を大観し、「交通・通信の視点」を中核として、東京に人・もの・情報などが日本や世界から集まることで、政治・経済・文化などさまざまな面で日本の中心的役割を担っていることについて、関東地方の地域的特色や地域の課題を理解している。</p> <p>・関東地方の地域的特色に関するさまざまな資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりする技能を身に付けている。</p> <p>②社会的な思考・判断・表現</p> <p>「交通・通信の視点」を通して、関東地方がどのように日本・世界の各地と結び付いているかについて、そこで生じている課題と結び付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <p>関東地方の地域的特色について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

〈各時間の評価規準〉

学習項目	学習のねらい	①知識・技能	②思考・判断・表現
①日本の中心的な地域 	<p>○関東地方の位置と自然環境を大観し、構成する都県の位置と名称を理解する。</p> <p>○関東地方の地勢図から、主な自然地名や各都県、主な都市の位置と名称を読み取ることができる。</p>	<p>関東地方の位置と自然環境を大観し、主題図・グラフなどの資料から主な自然地名や各都県、主な都市の位置と名称を読み取る技能を身に付け、構成する都県の位置と名称を理解するとともに、関東平野の地形の特色を理解している。</p>	<p>関東地方の自然環境の特色が、人々の生活や地域のつながりにどのような影響を与えているかについて、多面的に考察し、表現している。</p>
②日本の首都 東京 	<p>○首都のもつ中枢管理機能によって、東京は日本の政治・経済・文化の中心地となっていることを理解する。</p> <p>○鉄道のターミナルに副都心が発達し、土地の効率的な利用のために高層ビルが建ち並ぶこと、都心における人口の課題について考え、表現できる。</p>	<p>主題図やグラフなどの資料から、人口や商工業、外資系産業や外国人居住者などが東京を中心とする関東地方に集中する傾向があることを読み取る技能を身に付け、東京が日本の政治・経済・文化の中心地となっていることを理解している。</p>	<p>鉄道のターミナルに副都心が発達し、土地の効率的な利用のために高層ビルが建ち並ぶことや、都心における人口の課題について考察し、表現している。</p>
③郊外に広がる市街地 	<p>○東京を中心とした大都市圏の拡大によって、過密にともなう課題が発生し、都心の機能を分散させる政策が進んでいることを理解する。</p> <p>○東京大都市圏の拡大の理由について、交通網の発達や通勤・通学者の分布などと関連づけて考え、表現できる。</p>	<p>主題図やグラフなどの資料から、通勤・通学者の多い地域が鉄道網に沿って放射状に広がっていることを読み取る技能を身に付け、東京大都市圏の拡大によって、過密にともなう課題が発生し、都心機能の移転などの対策が行われたことを理解している。</p>	<p>東京大都市圏が拡大したことの理由や問題点、課題解決の対策について、過密や交通網の発達の観点をふまえて多面的・多角的に考察し、表現している。</p>
④交通網を利用して発展する産業 	<p>○関東地方で工業・農業が発達したことが交通網の整備とどのように結び付いているかを理解する。</p> <p>○工業地域の拡大の理由や特色ある農業について、用地や労働力、自然環境が交通網の発達と結び付いて進展してきたことについて考え、表現できる。</p>	<p>主題図やグラフなどの資料を読み取る技能を身に付け、関東地方の各工業地帯・工業地域が東京湾岸から内陸へと拡大して発展したこと、東京の周辺で近郊農業が盛んなことが交通網の整備とどのように結び付いているかを理解している。</p>	<p>工業地域の内陸部への拡大や近郊農業の発達の理由について、用地や労働力、自然環境が交通網の発達と結び付いて進展してきたことと関連付けて考察し、表現している。</p>

学習項目	学習のねらい	①知識・技能	②思考・判断・表現
⑤世界と結びつく 東京	○成田国際空港や横浜港は、国際的な交通の拠点として世界各国と結び付いており、関東地方は外国との窓口としても重要な役割をもつことを理解する。 ○交通・通信の発達により、世界との結び付きが強まることで、地域の国際化が進み、外国人労働者が増加したことなどについて考え、表現できる。	主題図やグラフなどの資料から関東地方に多くの外国人が居住していることを読み取る技能を身に付け、成田国際空港や横浜港など、関東地方が外国との窓口としての機能をもつことを理解している。	東京を中心とする関東地方に外国人が多く居住する理由として、交通・通信の発達により世界との結び付きが強まり、地域の国際化とともに外国人労働者が増加したことなどについて考察し、表現している。
□都市特有の課題について考える (1)	○東京都を例に、都市化の進展の中で地盤沈下や水害対策、温暖化対策など、都市特有の課題が生じていることについて理解する。 ○地盤沈下の発生要因や水害や温暖化に対する対策について、大都市における過密と結び付けて考え、都市における災害について関心を持ち、都市特有の課題について調べようとする態度を養う。	東京都を例に、標高の低い地域における水害への対策について資料を読み取る技能を身に付け、都市化の進展の中で地盤沈下や水害対策、温暖化対策など、都市特有の課題が生じていることについて理解する。	地盤沈下の発生要因や水害、温暖化対策について、大都市における過密と結び付けて考察し、表現している。

◇6 東北地方
5

『伝統文化と地域の変化の視点から、東北地方の特色を考えていこう。』

東北地方の学習のねらい	東北地方の評価規準
○東北地方を大観し、「伝統文化と地域の変化の視点」を中核として、自然環境や歴史的背景などと関連付け、都市化や国際化の進展によって各地で地域ごとに移り変わりがみられることについて、東北地方の地域的特色や地域の課題を理解する。 ○「伝統文化と地域の変化の視点」を通して、東北地方ではどのように人々の暮らしや産業が移り変わってきたのかについて、そこで生じている課題と結び付けて考察し、表現できる。	①知識・技能 ・東北地方を大観し、「伝統文化と地域の変化の視点」を中核として、自然環境や歴史的背景などと関連付け、都市化や国際化の進展によって各地で地域ごとに移り変わりがみられることについて、東北地方の地域的特色や地域の課題を理解している。 ・東北地方の地域的特色に関するさまざまな資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりする技能を身に付けている。 ②社会的な思考・判断・表現 「伝統文化と地域の変化の視点」を通して、東北地方ではどのように人々の暮らしや産業が移り変わってきたのかについて、そこで生じている課題と結び付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 東北地方の地域的特色について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

〈各時間の評価規準〉

学習項目	学習のねらい	①知識・技能	②思考・判断・表現
①豊かな風土に育まれた文化をもつ地域	○東北地方の位置と自然環境を大観し、構成する県の位置と名称を理解する。 ○東北地方の地勢図から、主な自然地名や各県、主な都市の位置と名称を読み取ることができる。	東北地方の位置と自然環境を大観し、主題図から東北地方の主な自然地名や各県、主な都市の位置と名称、奥羽山脈を境にした東西の自然環境の相違などについて読み取る技能を身に付け、やませや津波がもたらす影響について理解している。	東北地方を日本海側と太平洋側に分け、気候の違いを季節風の向きと関連づけて考察し、表現している。

学習項目	学習のねらい	①知識・技能	②思考・判断・表現
②地域に根ざした豊かな文化 I	○東北地方の伝統文化を通じて、人々の暮らしと自然環境やさまざまな文化・産業が関わっていることについて理解する。 ○東北地方の食文化や産業、人々の暮らしが、どのような伝統文化の影響を受けているかについて考え、表現できる。	主題図などの資料から、東北地方の食文化や伝統工芸品、伝統行事を読み取る技能を身に付け、人々の暮らしと自然環境やさまざまな文化・産業が関連していることについて理解している。	東北地方各地の食文化や伝統工芸品、伝統行事について具体的な事例を取り上げ、その歴史的背景や自然環境との関わりについて説明している。
③現代に生きる地域文化 I	○東北地方のさまざまな祭りや伝統芸能について、それらが継承されてきた背景や、文化を受け継ぐ努力・工夫を理解する。 ○東北の三大祭りなどから、かつての人々の暮らしの様子に関心をもち、地域文化の伝承などについて調べようとする態度を養う。	主題図などの資料から伝統行事などの分布を読み取る技能を身に付け、東北地方のさまざまな祭りや伝統芸能について、それらが継承されてきた背景や、文化を受け継ぐ努力・工夫を理解している。	東北地方のさまざまな祭りや伝統芸能、無形の文化遺産の歴史的な背景について、人々の生活と関連付けて考察し、表現している。
④人々の暮らしの変化と産業 I	○東北地方の人々の暮らしの変化と産業の進展について、農村景観の変化や農作業の効率化などに関連付けて理解する。 ○東北地方の農工業について、農業の効率化と高齢化の進展、高速道路の整備と工業の進出などを結び付けて考え、表現できる。	主題図などの資料から工場の立地と高速道路の関係について読み取る技能を身に付け、東北地方の人々の暮らしの変化と産業の進展について、都市化や工業化、農村景観の変化や農作業の効率化などに関連付けて理解している。	東北地方の農工業について、農業の効率化と高齢化の進展、高速道路の整備と工業の進出などを結び付けて考察し、表現している。
⑤これからの農業 I	○東北地方の農業について、冷害が発生しやすい一方で、稲の品種改良ややませを利用するなどの工夫が行われていることを理解する。 ○農業経営を安定させるため、時期をずらした作物栽培や稲作と果樹や畜産などとの複合経営が行われてきたことについて考え、表現できる。	グラフなどの資料から東北各県の農業生産額の減少や米の生産割合の減少などの変化を読み取る技能を身に付け、東北地方の農業について、冷害が発生しやすい一方で、それが稲の品種改良ややませを利用するなどの工夫に結び付いていることを理解している。	農業経営を安定させるため、時期をずらした作物栽培や稲作と果樹や畜産などとの複合経営が行われてきたことについて考察し、表現している。
☐震災の経験を受け継ぎ、未来に生かす (1)	○東日本大震災を取り上げ、その影響や復興への取り組み、経験を次世代に伝えるための努力・工夫について理解する。 ○東日本大震災について、当時の様子や復興の現状について資料を収集するなどしてまとめ、経験をどのように伝えていくかということに関心をもち、身近な地域の災害に向けてどのような課題があるのかを「自分事」として調べようとする態度を養う。	東日本大震災について、本文の記述や資料から、東日本大震災時における被害や住民の生活への影響について地域的特色を読み取る技能を身に付け、その復興への取り組みや経験を次世代に伝えるための努力・工夫について理解している。	東日本大震災の経験から、未来に向けて何を学び、何ができるかを多面的・多角的に考察し、表現している。

北海道地方の学習のねらい	北海道地方の評価規準
<p>○北海道地方を大観し、「自然環境と関連する産業の視点」を中核として、自然環境が地域の人々の生活や産業などと深い関係をもっていることについて、北海道地方の地域的特色や地域の課題を理解する。</p> <p>○「自然環境と関連する産業の視点」を通して、北海道地方ではどのように自然環境を生かした暮らしや産業が行われてきたのかについて、そこで生じている課題と結び付けて考察し、表現できる。</p>	<p>①知識・技能 ・北海道地方を大観し、「自然環境と関連する産業の視点」を中核として、自然環境が地域の人々の生活や産業などと深い関係をもっていることについて、北海道地方の地域的特色や地域の課題を理解している。 ・北海道地方の地域的特色に関するさまざまな資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりする技能を身に付けている。</p> <p>②社会的な思考・判断・表現 「自然環境と関連する産業の視点」を通して、北海道地方ではどのように自然環境を生かした暮らしや産業が行われてきたのかについて、そこで生じている課題と結び付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 北海道地方の地域的特色について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

〈各時間の評価規準〉

学習項目	学習のねらい	①知識・技能	②思考・判断・表現
①開拓の歴史が新しい地域 	<p>○北海道地方の歴史と自然環境を大観し、主な都市の位置と名称を理解する。</p> <p>○北海道地方の地勢図から、主な自然地名や主な都市の位置と名称を読み取ることができる。</p>	北海道地方の位置や自然環境を大観し、主題図から主な自然地名や主な都市の位置と名称を読み取る技能を身に付け、アイヌ民族と和人との関わりについて理解している。	北海道への和人の進出について、松前藩や明治政府の政策や開拓の歴史と関連付けて考察し、表現している。
②長く厳しい冬の暮らし 	<p>○冷帯(亜寒帯)に属する北海道の気候と、寒冷な気候に対応した人々の暮らしの特色について理解する。</p> <p>○冷帯(亜寒帯)特有の気候について関心をもち、人々の寒さへの工夫、流水や夏季の濃霧、湿原などについて調べようとする態度を養う。</p>	主題図やグラフなどの資料から日本海側と太平洋側の気候の特色の違いを読み取る技能を身に付け、冷帯(亜寒帯)に属する北海道地方の気候の特色を理解し、寒冷な気候に対応した人々の暮らしの特色について理解している。	寒冷な気候の中での人々の暮らしの特色や、そうした気候を活用した生活の工夫について多面的・多角的に考察し、表現している。
③大規模化する農業 	<p>○北海道の大規模で多様な農業経営と、日本の食料基地としての重要な役割について理解する。</p> <p>○石狩平野の稲作、十勝平野の畑作や根釧台地の酪農について、自然的条件や社会的条件などと関連づけて考え、表現できる。</p>	グラフなどの資料から全国と比較した北海道の農業の特色を読み取る技能を身に付け、北海道が日本の「食料基地」とよばれる理由や、北海道各地の農業の特色について理解している。	石狩平野の稲作、十勝平野の畑作や根釧台地の酪農の特色について、自然的条件や社会的条件などと関連づけて考察し、表現している。
④「とる漁業」から「育てる漁業」へ 	<p>○北海道の漁業の現状や、「とる漁業」から栽培漁業や養殖などの「育てる漁業」へ転換した背景について理解する。</p> <p>○水産資源の保護と北洋漁業の課題について関心をもち、国際関係と関連させて漁業の現状を調べようとする態度を養う。</p>	主題図やグラフなどの資料から北海道の漁業の特色や養殖業の生産の変化を読み取る技能を身に付け、北洋漁業に代表される「とる漁業」が行き詰まった理由や、北海道の栽培漁業や養殖などの「育てる漁業」が拡大した背景について理解している。	北海道の漁業が大きく変化した理由を、歴史的経過や国際関係と関連付けて考察し、表現している。

学習項目	学習のねらい	①知識・技能	②思考・判断・表現
⑤豊かな自然と観光 I	○北海道特有の自然環境を生かした観光産業と地域の活性化の関連について理解する。 ○身近な地域での自然や伝統的な文化を楽しむエコツアーのあり方や、増加する海外からの外国人観光客の動向について考え、表現できる。	グラフなどの資料から、北海道への外国人観光客はアジアからの人々が多いこと、観光客は夏季に多く、冬季に少ないことを読み取る技能を身に付け、北海道の観光資源の多くは豊かな自然環境を生かしたものであることや、観光産業と地域の活性化の関連について理解している。	身近な地域での自然や伝統的な文化を楽しむエコツアーのあり方について、増加する海外からの外国人観光客の動向と関連付けて考察し、表現している。
㊦アイヌ民族の文化に学ぶ (1)	○アイヌ民族の歴史や文化を知り、伝統文化を継承する重要性を理解する。 ○アイヌ民族の文化に関心を持ち、日本国内での多様な地域文化の共存・共生と「持続可能な社会」の創造について調べようとする態度を養う。	アイヌ民族の生活とその歩みについて本文の記述や資料から適切に表にまとめる技能を身に付け、伝統文化を継承する取り組みやその重要性を理解している。	アイヌ民族の歴史や文化を理解し、多文化との共生について多面的・多角的に考察し、表現している。

第4章 地域のあり方(4時間)

『地域の成り立ちや課題を明らかにし、地域の未来についてまとめよう。』

学習項目	学習のねらい	評価規準
地域のあり方 4	<p>○地域のあり方について、地域の内外の結び付きからとらえることや、地域がもつ課題や地域がたどってきた変容、地域の今後の持続可能性からとらえることなどに着目して、地域のあり方を地域的特色や地域の課題と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成する。</p> <p>○学習の全体を通して、課題解決の取り組みや課題解決に向けて構想したことを適切に表現することができるようにする。</p>	<p>①知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の実態や課題解決のための取り組みを理解している。 ・地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論し、まとめる手法について理解している。 <p>②社会的な思考・判断・表現</p> <p>地域のあり方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこでみられる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <p>地域のあり方について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>

〈各時間の評価規準〉

学習項目	学習のねらい	①知識・技能	②思考・判断・表現
①地域の課題をとらえる(1) 1	<p>○これまでの各地方の学習を振り返り、農村の課題についてまとめ、人口減少と結び付けて分析したり、適切な資料を集めたりしながら、地域のあり方をとらえようとしている。</p> <p>○身近な地域に対して関心を高め、生活の中で便利な点、不便な点を洗い出し、課題について向き合おうとする態度を養う。</p>	<p>自分が生活する地域について、生活の中で便利な点、不便な点を洗い出し、表や文章にまとめる技能を身に付け、農村の課題と地域のあり方について、これまでの学習をもとに理解している。</p>	<p>これまでの各地方の学習を振り返り、農村の課題についてまとめ、人口減少と結び付けて分析したり、適切な資料などを集めたりしながら、地域のあり方を多面的・多角的に考察し、表現している。</p>
②地域の課題をとらえる(2) 1	<p>○これまでの各地方の学習を振り返り、都市の課題についてまとめ、人口減少や人口過密と結び付けて分析したり、災害に対する備えについて調査するなど、地域のあり方をとらえようとしている。</p> <p>○人口過密で生じる課題と将来の人口減少社会で生じる課題を洗い出し、都市防災に結び付けて課題について向き合おうとする態度を養う。</p>	<p>人口過密で生じる課題と将来の人口減少社会で生じる課題を洗い出し、表や文章にまとめる技能を身に付け、都市の課題と地域のあり方について、これまでの学習をもとに理解している。</p>	<p>これまでの各地方の学習を振り返り、都市の課題についてまとめ、人口減少や人口過密と結び付けて分析したり、災害に対する備えについて調査するなど、地域のあり方を多面的・多角的に考察し、表現している。</p>

学習項目	学習のねらい	①知識・技能	②思考・判断・表現
③地域の課題を調べる I	○身近な地域の課題について、テーマを決めて調べ、類似の地域と比較したり、関連付けたりしようとしている。 ○身近な地域の課題について、実際にその解決のためにアンケートや聞き取りを行うなどして、考察する態度を養う。	自分が生活する地域の課題について、表や文章にまとめる技能を身に付け、テーマを決めたり、類似の地域と比較したり、関連付けたりすることが大切であることを理解している。	身近な地域の課題について、テーマを決めて調べ、類似の地域と比較したり、関連付けたりしながら、実際にその解決のためにアンケートや聞き取りを行うことなどを通して考察し、表現している。
④地域に向けて発信する I	○身近な地域の課題について、調べたことをレポートやイラストマップなどに表現し、地域の課題とその解決のための方策などを考察・構想し提案する。 ○地域調査に協力いただいた方々を教室に招くなどして、調査結果を報告したり、提案を発信しようとする態度を養う。	身近な地域の課題について、調べたことをレポートやイラストマップなどにまとめる技能を身に付け、その解決のための方策などを提案するにあたり、ポスターなどに表現して周囲の人々に伝えていくことが重要であることを理解している。	身近な地域の課題について、調べたことをレポートやイラストマップなどにまとめ、地域の課題とその解決のための方策などについて考察・構想し、周囲の人々に伝えるために表現している。